



会報 とやま

令和元年度

No. 4

(通算156号)

総会員数882名 (休会102名)

全188施設

今号の内容	第24回富山県理学療法 学術大会のお知らせ	1
	理事会報告	2~3
	行事報告	4
	地区連絡会だより	5~6
	研修会報告	6~14
	リレーエッセイ	15
	インフォメーション	16~17
賛助会員名簿	18	
編集後記	19	



県士会新年会・東海北陸理学療法学術大会慰労会(令和2年1月11日開催)

第24回富山県理学療法学会ののお知らせ

富山県理学療法士会会員 各位

大会長 城前 美奈

準備委員長 魚谷 明正

寒冷の候 会員の皆様におかれましては益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。
この度、第24回富山県理学療法学会を下記の要項にて開催することとなりました。
今回は、特別講演・シンポジウム・機器展示・一般演題（口述発表）を企画致しました。
つきましては、会員諸氏の多数の演題発表と学会大会へのご参加をお願い申し上げます。

記

会 期 令和2年6月21日(日) 9:30~16:10 (受付9:00~)

会 場 北アルプス文化センター・文化研修センター

〒930-0353 中新川郡上市町法音寺1番地 TEL 076-473-1818

テーマ 「地域におけるPTの専門性と可能性」

1. 特別講演Ⅰ

松井 一人 (ほっとリハビリシステムズ 代表取締役)

「次世代の地域課題の解決に期待される理学療法士の新たな役割とは」

～2035年問題の波に淘汰されない為に、理学療法士が持つべき視点と行動～

2. 特別講演Ⅱ

佐藤 幸浩 (かみいち総合病院 副院長)

「かみいち総合病院の在宅医療への取り組み」

3. シンポジウム 4. 一般演題発表（口述演題） 5. 機器展示

会 費 PT協会員：2,000円 非会員：3,000円 学生：無料

備 考

- ・事前参加登録については行いません。当日の参加登録は現金支払いのみとなります。
- ・会場駐車場には限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。
- ・演題募集の締め切り日は、**令和2年3月31日(火曜日)**です。ご注意ください。
- ・演題登録方法：電子メールにて、①題名 ②所属（施設名）③演者名（ふりがな）④キーワード3つ ⑤wordでの抄録ファイル添付を記載・添付の上、以下のアドレス宛に送信お願いします。

富山県厚生連滑川病院 リハビリテーション科 奥井 達士 宛

E-mail: rihabiri@kouseiren-namerikawa.jp

履 修

<参加者> 新人教育プログラム【C-5 地域リハビリテーション】

生涯学習ポイント【都道府県士会学会集會・学会参加】10ポイント

<発表者> 新人教育プログラム【C-6 症例発表】

生涯学習ポイント【都道府県士会学会集會・学会の一般発表の筆頭演者】5ポイント

理事会報告

令和元年度 第5回 理事会報告

日時：令和元年12月14日（土）
場所：富山医療福祉専門学校
出席者：酒井 堀尾 滝田 仲川 石黒
中島 布上 永山 山口 竹中
沼田 柴田(浩) 梅野 中村(拓)
宮原 魚谷 織田 石田 井亦
中村(太) 柴田(孝)
書記：愛場 PT協会：森本

【意見交換会】

H29年度からの変化点、事務局の機能、リハビリ協議会の活動、管理者ネットワーク、会員数について報告。
行政との介護予防、生涯学習システム、会員への連絡、スポーツ支援、男女参画型委員会等について関わりや活動指針について質問、意見交換を行った。

【審議事項】

1. 令和2年度事業計画・予算案
各局・委員会・地区連絡会
令和2年度県学会より報告があった。
2. 局・部分掌規程の改定職能局・管理者ネットワーク・スポーツ支援事業部に関して改定があった。
3. 補正予算
事務局情報管理部・社会局保健事業部・学術局専門領域運動器スポーツ班において補正、承認された。

【検討・報告】

1. 代議員選挙
県士会より4名推薦を行う。
2. その他
今後の研修会案内はすぐメールでのみ行う予定。

令和元年度 第6回 理事会報告(拡大役員会)

日時：令和2年1月11日（土）
場所：サンシップとやま
出席者：49名
理事：酒井 堀尾 滝田 仲川 池田
石黒 中島 布上 秋元 永山
山口 竹中 沼田 柴田(孝) 水上
中村(拓) 魚谷 石田 井亦
中村(太) 宮原
部長：有島 木内 舟坂 室崎 高田
中原 坂田 屋木 西野 石吾
渡邊 島 二橋 野上 浦上
山村 里崎 石川
地区代表：水野 小西 朝日 京塚
米澤 坂井
委員長：炭谷 柳瀬
監事：寺田 森田
書記：有島

【審議事項】

1. 令和2年度事業計画・予算案
・各部局・委員会より事業計画・予算案報告がなされた。期日までに各部署にて修

正し再度提出することとなった。

2. 局・部分掌規程の改定
 - ・職能局、管理者ネットワーク局、スポーツ支援事業局、広報局に関する規定改定案が提示され承認された。
3. 補正予算案
 - ・職能局医療介護保険部、教育局生涯学習部に関し補正予算の申請があり、了承された。

令和元年度 第7回 理事会報告

日 時：令和2年2月22日（土）

場 所：富山医療福祉専門学校

出席者

理事：酒井 堀尾 滝田 仲川 池田
石黒 中島 布上 秋元 城前
水上 魚谷 織田 中村 宮原
書記：有島

【審議事項】

1. 令和2年度事業計画・予算案
事務局より事業計画・予算案の修正案が

報告された。

2. 新型コロナウイルス感染拡大防止措置として、今年度内の会議・研修会は中止または延期とする。

【報告事項】

1. 代議員選挙について：補欠代議員を選定。
2. 地域包括ケアシステムにおける活用実態調査について：報告内容の確認を行った。
3. 都道府県臨床実習指導者講習会開催およびすぐメールについて：都道府県臨床実習指導者講習会参加について報告がされた。
すぐメール登録数は現在600名。再度周知していく。
4. 令和元年度北陸三県理学療法士会役員会および交流会：令和2年3月14日（土）実施予定。
5. 富山県理学療法士学術大会について：準備状況が報告された。



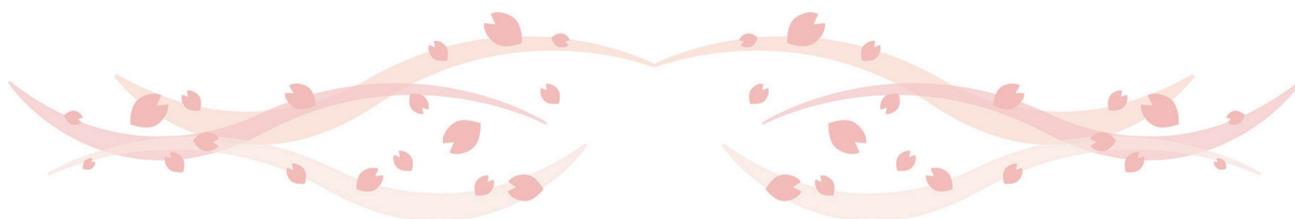
「令和元年度 県士会新年会・ 第35回東海北陸理学療法学術大会慰労会 開催報告」

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 木内 彰

令和2年1月11日(土)に、ドラゴンレッドリバー富山駅前店にて、令和元年度富山県理学療法士会新年会をにて開催致しました。今年度は、昨年11月に開催された第35回東海北陸理学療法学術大会の慰労会も兼ねて開催したこともあり、66名と多くの先生方に参加いただきました。初めに酒井吉仁県士会長に新年の挨拶をいただき、東海北陸理学療法学術大会の大会長であった県士会副会長の仲川仁先生に乾杯の音頭をとっていただきました。会場のあちこちで新年の挨拶や近況報告に加えて、学術大会の苦労をねぎらう話題も多く聞かれました。

若年層の先生方には、様々な年代の先生方と交流することができて、とても有意義な時間を過ごしていただけたのではないかと思います。これからも福利厚生の中では、気軽にいろいろな先生方と交流する機会を作っていきたいと思っています。若年層の先生方にはそれをきっかけとして日頃の理学療法業務を円滑に進めていただきたいと思います。

今後も、若年層の県士会員の皆様が参加しやすいように検討していきたいと思っております。皆様の積極的な参加をお待ちしております。



地区連絡会だより

高岡地区

高岡地区連絡会研修会を終えて

光ヶ丘病院 加藤 慎也

令和元年11月22日(金)、高岡市民病院にて「摂食嚥下障害患者のみかた」と題し、JCHO 高岡ふしき病院の言語聴覚士である松島大介先生に御講演頂きました。

日頃から業務を行っている、「食事中に咽る」、「痰の量が多い」といった訴えをされる患者様や、食事中に湿性嘔声を呈する患者様を見かける場面が少なからずあると思います。また、近年、8020運動やオーラルフレイルといった概念も提唱され、摂食嚥下に対する意識は高まりつつあるように感じます。

今回の研修は、摂食嚥下機能に関わる解剖学的基礎知識から嚥下スクリーニング検査、嚥下関連筋群のトレーニングまで非常に多岐に渡る内容でした。嚥下造影検査画像の正常例、嚥下障害例を呈示しながらの説明では、正常例では食塊が咽頭から食道までスムーズに通過するのに対し、嚥下障害例では食塊が



講義の様子

気管に侵入している様子が容易に観察出来ました。講義中には、専門職の独自性をもって利用者のニーズに応えるサービスを創造することが重要とのお話があり、摂食嚥下障害を呈した患者様を担当する際には、理学療法士として座位姿勢や活動レベル等の情報を、他職種に提供することが必要不可欠だと思いました。

また、講義の中で舌圧子を用いた舌の抵抗運動や開口運動等のトレーニングを実際に体験する場面もあり、今回得た知識・治療技術を摂食嚥下障害患者に対する治療の一つとして取り入れることが出来るよう、今後も解剖学的知識の習得や技術の再確認を行う必要性を感じました。理学療法を行う際に、適切な栄養管理を併用することでADLや身体機能がより改善するとされており、その中で摂食嚥下機能を理解することは非常に重要な要素と考えられます。

今回の研修は、患者様の摂食嚥下機能や食事姿勢を見つめ直す良い機会になり、今後はより適切なアプローチが出来るよう努めていきたいと思いました。



富山北部地区

第2回 富山北部地区連絡会を開催して

富山北部地区連絡会 代表 朝日 信裕

令和元年11月21日(木)に、第2回富山北部地区連絡会を開催しました。

今回は富山駅前の磯炙にて親睦会を開催し、合計21名の参加がありました。親睦会開催前に、来年度の活動について申し合わせて乾杯へ。地区連絡会は「顔が見える関係づくり」を築くという趣旨から始まったように、はじめは緊張感が見られた皆さんでしたが、話が盛り上がり気づけばあっという間の2時間でした。

現在のこと、今後のことなど、普段はじっくりとお話することができない他施設の先生方と、とても貴重な情報交換ができたと感じています。

来年度も富山北部地区連絡会では、研修会と親睦会を開催する予定としておりますので、関連施設の皆さんの多数のご参加をよろしくお願いいたします。



参加者の皆様と

研 修 会 報 告

理学療法士講習会（基本編理論）

「内部障害における理学療法がわかる・できる ～病態、患者・家族の想いに配慮したアプローチの考え方～」に参加して

藤木病院 竹下 祐樹



令和元年12月1日(日)、厚生連高岡病院にて「内部障害における理学療法がわかる・できる～病態、患者・家族の想いに配慮したアプローチの考え方～」と題し、市立砺波総合病院の藤吉健史先生にご講演いただきました。

内容は、呼吸・循環・代謝機能の基礎的な知識を交えながら、内部障害の病態・病状を考えた上で、理学療法の進め方等について講義をしていただきました。講義を聞く中で、解剖・生



講習会の様子

理学の基礎的な知識を深く理解することが、理学療法を行う上でも他職種連携をする上でも重要であると改めて実感しました。また、患者様の病態を理解する上で、臨床所見と患者様の訴えだけでなく、生活習慣まで把握し総合的に考えることが重要だと感じました。そして、患者様・ご家族への教育を行い、自律支援へのアプローチをすることが、QOLの向上につながることを学びました。

今回の研修で学んだことを生かし、内部障害を抱えておられる患者様に対して、新たな視点を持ちながら理学療法を実施していきたいと思いました。これからも内部障害についての理解を深めるため、日々自己研鑽を続けていきたいと思ひます。



高校バレーボール新人大会サポート報告

富山県立中央病院 渡辺 逸平

バレーボールサポート部では、富山県高校バレーボール新人大会にテーピングサポートとして、当県士会員を派遣しました。新人大会は令和2年1月18日(土)、19日(日)、25日(土)の3日間、県内延べ5会場で開催され、派遣者5名、見学者4名の先生にご参加いただきました。テーピングやアイシング等での選手の利用は15件でした。

スポーツ支援事業局はバレーボールサポートからはじまり、高校野球、富山マラソン、ハンドボール、ラグビーと事業拡大してきたにも関わらず、担える人材が増えていない課題が長年あります。バレーボールサポート部では人材育成として、大会サポートの合間をぬって見学者へのテーピング指導をしています。写真のような評価表を用いて、派遣者として独り立ちできる基準を明確化しています。

25日は北野先生(魚津老健)、山本先生(西能クリニック)に参加していただき、足関節・膝関節に対するファンクショナルテーピングのデモンストレーション、実技練習を行いました。お二方ともスポーツが好きで、テーピングセンスも抜群でした。今後の活動に期待しています。県士会員の皆様、スポーツに興味がある方は是非、お気軽に参加していただけたら幸いです。

スポーツ支援事業局 バレーボールサポート部

バレーボールサポート 派遣者評価表

新評価者 (所属) _____
 スポーツ支援事業局講習会参加歴 あり・なし _____
 バレーボールサポート所属 _____ 回
 派遣者 _____
 派遣日 _____

能力評価表

大項目	中項目	小項目	自己評価					評価	必要水準レベル
			A	B	C	D	E		
評価	問診	問診歴を記録できる							十分理解しており、かつ説明できる A: 理解している B: 理解できていない
		スポーツ障害への理解がある							
	問診、又は、職員の挨拶を能くこなせる								
	スポーツケガのメカニズムがわかる								
各種テスト	膝の痛みを再現できる							説明書・教本・指導書がわかる 各項目のテーピングの位置とやり方が理解できている 適切なレベルがわかる	
	足関節へのテーピング								
対応	足関節へのテーピング	テーピングができる							十分に行き得る かつ説明できる A: 十分に行き得る B: 動きがあれば進行可能 C: 遅延可能
		ファンクショナルテーピングができる							
	足関節へのテーピング								
	膝関節へのテーピング								
その他		アイシングができる							

※合格基準 すべてA評価以上で合格とする

コメント _____

判定
合 否

派遣者評価表



テーピングの様子



「理学療法士によるスポーツ医科学からみる野球の コンディショニング研修会2020」に参加して

金沢医科大学氷見市民病院 宮垣 光克

令和2年1月26日(日)、富山市民球場にて開催された「理学療法士によるスポーツ医科学からみる野球のコンディショニング研修会2020」に参加させて頂きました。

本研修は県内高校球児を対象としており、15校・総勢56名の高校球児(+各校指導者1名)の参加希望者を募り、25名の理学療法士のサポートで実施されました。

内容は、①総論、②メディカルチェック、③ストレッチとトレーニング紹介、④グループディスカッションで構成され、障害予防やカラダのケアにおける知識や技術をお伝えしました。この講習会の目的は、選手自らが管理・実践していくことで野球の障害を予防すること、そして野球競技におけるパフォーマンスが向上することにより、富山県の高校球児一人一人、そしてチームとしてもレベルを上げていくことです。心身機能の未完な青年期における障害出現性の高さは広く知られており、管理や指導の面でよく問題提起されています。本研修はその当事者である選手・指導者と直接係る非常に貴重な機会であり、活動意義も感じました。

私自身本研修には2回目の参加でしたが、共通して選手-指導者間での意思疎通の不足や障害予防に対する認識のギャップも感じました。ある指導者より「選手にどこまで言ってあげればよいか悩む」「(監督という)立場を気にして選手達が正直に言わない」といった発言が聞かれジレンマを抱えている印象も受けました。

その一方、本研修に自ら希望して参加した選手がいる事や、ディスカッションの場面で質問する選手が増えた事も事実であり、理学療法士が障害予防の重要性を提唱すると共に選手-選手間や選手-指導者間の橋渡しの役割も担っていける様、今後も一つ一つの取り組みを積み重ねていきたいと思いました。



講義の様子





「在宅生活を考えるリハビリテーション研修会」に参加して

金沢医科大学水見市民病院 水上 正樹

令和2年1月26日(日)、市立砺波総合病院にて、訪問リハビリテーション研究会主催の「在宅生活を考えるリハビリテーション研修会」が開催されました。訪問リハビリテーション研究会は三士会合同で運営しており、今年度2回目の研修会でした。今回は病院や老人保健施設、訪問リハビリや訪問看護等に勤務されている方が多く、看護師を含め31名の参加者でした。

初めに、理学療法士の碓井孝治先生（市立砺波総合病院）をお迎えして、「リハが知っておきたい人工呼吸の知識」と題して、生理学的なお話から人工呼吸器の基本から注意点を踏まえ、実際の人工呼吸器のモードの説明や実際に関わった事例を通した内容でした。また帝人在宅医療株式会社および株式会社フィリップス・ジャパンの業者の方も参加され、NIPPVや人工呼吸器の説明や実際に触れる機会もありました。

富山県の地域課題についての報告では、言語聴覚士の市橋健先生（シルバーケア今泉）が講演されました。またグループワークを通して、課題検討や情報交換を行う機会があり、活発な意見を聞くことができ大変、刺激を受けることができました。

現在、地域での取り組みが重要視される中、在宅に向けた勉強会や研修会がまだ少なく感じます。在宅で関わっている看護師からは、セラピストと関わり知識を深めたいとの意見もありました。患者様やご家族、地域と関わる上で、さらなる横の繋がり・連携の強化を、研修会を通して強く感じることができました。



NIPPVの装着体験



介護予防推進リーダー導入研修を受けて

アモール訪問看護ステーション 稲生 拓也

令和元年12月15日(日)に富山西総合病院で「介護予防推進リーダー導入研修」が開催されました。

本研修は4部で構成されており、1部では介護予防の概要や実際の取り組み・リハビリ職としての役割や今後の課題についてDVDを通して学びました。

2部・3部では主にグループワークを主に、実際に介護予防事業を導入するにあたって行われるプレゼンテーションや応援10カ条づくりについて講義・体験を行いました。特に応援10カ条づくりでは、様々な人の視線で考える重要性和専門職の目線でどのように事業に関わっていくかの考え方の整理ができました。

4部では1部で紹介された実際の取り組みについて、具体的な都道府県や市町村の事例を紹介して頂きました。

今回の導入研修では、2部の5分という時間の中で、地域住民の方が前向きに自主的に介護予防を取り組みたくなる様なプレゼンを考え発表する事が、特に私にとって印象に残りました。

『いかに相手の興味を引き・自主的に取り組みたいと思っていただけるか』この考え方は、現在の業務である訪問看護の分野でも、利用者様の自主的な健康管理を促す上での大切な考え方だと感じました。そのためには応援10カ条づくりでも行った、様々な人の立場の目線に立って考える事も重要になると思いました。

また個人との関わりを現場で行う訪問看護とは違う、自治体や団体と関わりながら事業を展開・自立（自律）させていく介護予防事業への関わりに一段と興味を持ちました。法律や制度、実際に自分の住む地域での取組み・活動をもっと具体的に知りたいと考えています。

介護予防推進リーダーの資格は①事前学習のe-learning、②今回の導入研修、③士会指定事業への参加、これらを経て認定されます。今後の士会指定事業の予定を確認し、参加したいと思いました。



研修会の様子



地域ケア会議推進リーダー導入研修に参加して

アルカディア氷見 常林坊 紘也

令和2年1月26日(日)に富山西総合病院において「地域ケア会議推進リーダー導入研修」が開催されました。

研修では、①地域包括ケアシステムについて、②地域ケア会議とは、③地域ケア会議に求められる理学療法士の役割、④模擬会議の実際と心構えについてDVDでの講義、演習を交え行われました。

①地域包括ケアシステムについては、リハビリ専門職の役割として、介護予防の取り組みを地域包括支援センターと連携しながら総合的に支援していく必要があるということを学びました。また、我々の知識や技術を他職種や住民に還元する方法を自ら提案していく時代に変化してきていることを知りました。



研修会の様子

②地域ケア会議では、新たな役割の1つとして「自立支援型ケアマネジメント」への支援があり、療法だけを提供するのではなく、生活機能の予後予測をもとに生活上の目標を設定しプログラムを作成することができる専門職として期待されている事が分かりました。

③地域ケア会議に求められる理学療法士の役割では、理学療法士の役割は生活機能障害を引き起こす要因を評価する事、疾患を踏まえた生活行為の改善の見通しを示す事、利用者の有する能力を

最大限に引き出す為の支援方法の提案などがあることが分かりました。また、他職種が集まる場でそれぞれの立場を尊重し協力的に議論を進めていく事が重要である事を知りました。

④模擬会議の実際と心構えについては、他職種の専門職等様々な関係者が出席しており、相手の立場になって伝えることを意識して、専門用語は出来るだけ使用せず、押し付けではなく提案するという姿勢が大切であることが分かりました。またDVDでの模擬ケア会議や事例演習もあり、専門職としてどのような助言が必要なのかを知ることが出来ました。

最後に、富山県の高齢化率も急激に進み地域での理学療法士としての役割が重要になってくると考えられます。理学療法士の強みを生かして総合的に地域包括ケアを推進していけるよう日々、自己研鑽していく必要があると感じました。

生涯学習部主催



「生涯学習研修会 必須研修2」に参加して

アルペンリハビリテーション病院 吉田 昌矢

令和2年1月19日(日)、サンシップとやまで行われた「生涯学習研修会 必須研修2」に参加しました。今回の研修では新人理学療法士に対し、理学療法の基礎となる臨床や研究、専門性について先生方から講義していただきました。

1限目の講義では、アルペンリハビリテーション病院の中原裕先生から、クリニカルリーzingの概念と実際の臨床での推論の流れや考え方について、先生の知識や経験を踏まえながら具体的に教えていただきました。クリニカルリーzingには療法士と対象者の相互の情報共有が必要不可欠であり、身体機能や認知、メタ認知、環境などが絡み合っていることが分かりました。実際の臨床でもそれらを理解したうえで運動や動作観察から分析・仮説を立て、根拠を持った治療を提供していく必要があると感じました。

2限目の講義では、富山県リハビリテーション病院・こども支援センターの溝口太仁先生から、症例検討・発表の仕方について教えていただきました。見やすく分かりやすいスライド・発表を作成する工夫を実際の発表資料を提示しながら説明してもらえたことで、自分自身が今後発表する際の参考になりました。



講義の様子

3限目の講義では、富山県立中央病院の船橋圭佑先生から、生涯学習の流れについて説明していただきました。認定・専門理学療法士になるまでの流れと必要な履修ポイントについて理解することができました。

4限目の講義では、富山県リハビリテーション病院・こども支援センターの福元裕人先生から、コーチングとティーチングの違いと使い分け方やコミュニケーションのスキルについて学ぶことができました。話し方や距離、位置、表

情など、今後患者様や周りの人とコミュニケーションをとる際には今以上に意識する必要があると感じました。

最後の講義では、アルペンリハビリテーション病院の津田浩史先生から、研究の流れや方法について解説していただきました。例題に沿って研究のデザインや対象、測定項目など研究のアウトカムについて知ることができました。

今回の研修で、今後理学療法士として働くうえで欠かせない知識や情報を教えていただきました。自分の臨床を今一度見直しつつ、ここで学んだことを明日からの臨床や今後の学習・発表・研究に活かし、日々精進しようと思います。



第1回都道府県臨床実習指導者講習会

教育局 局長 中島 隆興

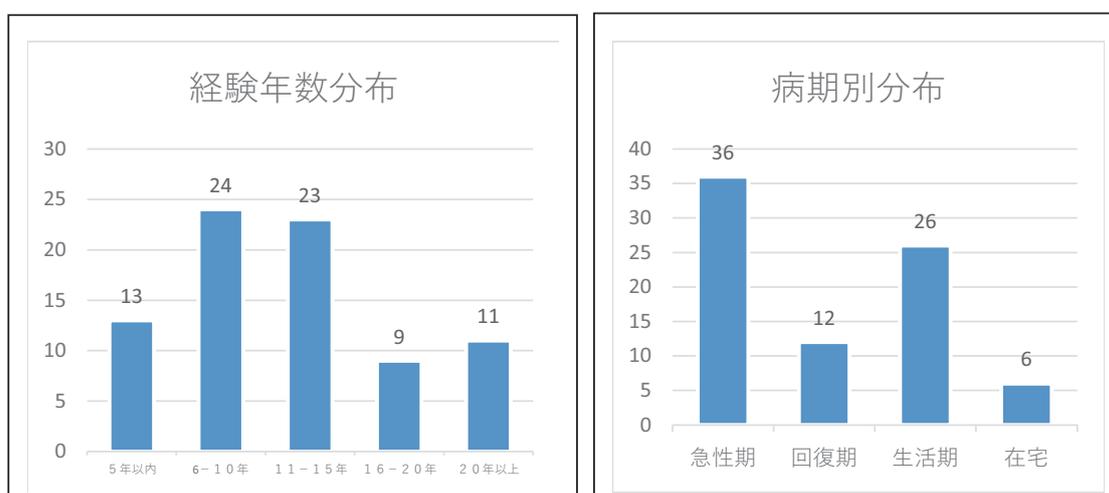
令和2年2月8日(土)、9日(日)に富山医療福祉専門学校にて、第1回都道府県士会臨床実習指導者講習会を開催しました。中央講習会を受講した県内PT(世話人)に加え、中央講習会にも関わる県外講師を迎え、厚労省の規定に沿ったプログラムで講演および演習を行いました。参加者は79名でした。約100名の応募があり、参加者の調整にご理解とご協力頂いた皆様には、感謝申し上げます。

2020年の指定規則改定に伴う臨床実習指導の見直しに対応すべく、指導に係る知識の習得と共に、演習を通じた積極的に意見交換が行われ、指導水準の明確化と指導力の向上への一助となったと思われます。今後、約3年で400名程度の指導者養成を目標とし、将来的には全県士会員に受講いただき、富山県における理学療法教育の質の保証を図りたいと考えています。各施設での計画的なご参加をよろしくお願い致します。

次回の開催は、令和2年8月22日(土)、23日(日)の2日間の予定です。

後日、詳細はHP等でご連絡させていただきます。

【参加者分布：参加者79名】



講 師（県外 7 名）	世話人（県内 9 名）
三宅 わか子 (星城大学リハビリテーション学院)	酒井 吉仁 (富山医療福祉専門学校)
中川 仁 (星城大学リハビリテーション学院)	宮原 謙一郎 (富山医療福祉専門学校)
松本 泉 (熊本駅前看護リハビリテーション学院)	水口 且久 (富山リハビリテーション医療福祉大学校)
薄 直宏 (東京女子医科大学八千代医療センター)	浦上 孝徳 (友愛温泉病院)
長福 武志 (熊本セントラル病院)	荻行 恵美 (富山県リハビリテーション病院・こども支援センター)
堀本 ゆかり (国際医療福祉大学)	畠 昌史 (厚生連高岡病院)
二宮 省悟 (九州看護福祉大学)	吉岡 慎司 (南砺市民病院)
	布上 隆之 (野村病院)
	伊東 克晃 (かみいち総合病院)

【開催経緯】

理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の変更に伴い、2020年以降の入学生の評価実習および総合実習の指導者は、実務経験5年以上、かつ厚生労働省が指定した臨床実習指導者講習会、または厚生労働省及び公益財団法人医療研修財団が実施する PT・OT・ST 養成施設教員等講習会（いわゆる長期講習会）の受講者に限られます。

富山県理学療法士会においては、厚生労働省の指定を受け日本理学療法士協会主催の臨床実習指導者講習会を企画・運営し、指導者養成を図ります。



運動器研究会スポーツ班主催

「臨床に生きる運動療法～高齢者からアスリートまで～」

厚生連高岡病院 二橋 亮介

令和2年2月20日(木)、根塚整形外科・スポーツクリニックにて運動器研究会スポーツ班主催研修会「臨床に生きる運動療法～高齢者からアスリートまで～」が開催され、根塚整形外科・スポーツクリニックの藤樫和彦先生にご講演頂きました。

研修会では講義と実技を交えながら、実際に身体を動かして運動療法について学びました。

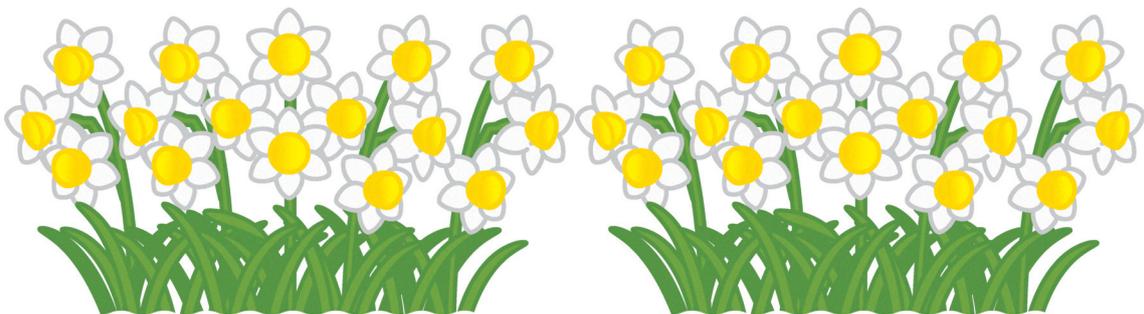
講義では対象者に運動療法を通して自身の身体の状態についての内観を得させることや、個々の状態や能力に応じて段階づけた運動を指導することの重要性を述べておられました。

実技ではピラティスやヨガの考え方を応用し、藤樫先生の声掛けのもと特に呼吸を意識しながら横隔膜、腹横筋、多裂筋、骨盤底筋群といった体幹筋の働きを促し行いました。運動では患者向けの軽負荷のものから、パフォーマンス向上を目的としたアスリート向けのものまで行い、運動中における自身の身体機能についての気づきや、運動実施前後での身体の変化などを感じることができました。

今回の研修会は講義と実技を交えた実践的な内容であり、運動を指導する立場としての自身の身体機能などについても考えさせられる部分が多くありました。また普段指導している運動療法が対象者にとって適切なものであるか、目的とした効果が得られているのかを再度考え直す良い機会となり、明日からの臨床に向けて生きる有意義な研修会となりました。



研修会の様子



リレーエッセイ



健康は技術 ～理学療法士がいま、伝えられること～

株式会社 SUDACHI 畔田 沙智

皆さん初めまして。株式会社 SUDACHI の畔田沙智と申します。理学療法士 7 年目です。今まで県内の総合病院、東京都内の訪問看護ステーションでの勤務を経て、現在、速星に本社があります、株式会社 SUDACHI で働いています。その中でも美容整体部門となります「美容整体 Re-gala(リガーラ)」というお店の店長として働いています。当店はスタッフ全員が女性理学療法士という全国的に見ても極めて珍しいお店です。病院に行くほどではないが診てほしい体の不調を抱えていらっしゃる方、病院での勤務経験のある理学療法士に体を診てほしい方、産後のメンテナンスとして体を診てほしい方にご利用頂いています。

今、医療・介護の現場から離れ、気づいたことがあります。

それは、病気や手術が必要になる状態は予防できる！ということです。私は今、病院に通う必要のない方を主に対応していますが、皆さん、何らかの不調をお持ちで、それを我慢しながら生活されていらっしゃる方が非常に多いのです。我慢できてしまう…というのが本当の所でしょうか。その状態で毎日仕事へ行き、メンテナンスもせずに体を使い続けることにより、病気を発症しやすくなり、手術が必要な状態になる可能性が高くなると思います。

私たち株式会社 SUDACHI はお客様に「健康の技術」を売っています。健康は技術であるため、しっかりと自分のコントロール下で理想の体を作っていける。そのような関わりをしています。

これからも、健康を害してから健康の大切さを知る人を一人でも多く減らしていきたい。そんな思いで、多くの人の健康を守っていきたいと思います。



第
36
回

東海北陸理学療法学会大会

臨床や地域の現場にこそ
本当がみえる

—技術と科学のクオリアを求めて—

2020年

会期

11月7日(土)・8日(日)

会場

名古屋国際会議場

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

大会長

石田 和人 豊橋創造大学

主催

公益社団法人 日本理学療法士協会
東海北陸ブロック理学療法士協議会

担当

公益社団法人 愛知県理学療法士会
特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会

演題登録
期間

2020年4月1日(水)正午▶5月31日(日)正午



<https://thpt36.jp/>

運営
事務局

株式会社ディーケーピー
イベント・コンベンション事業室 ヘルスケア事業内
E-mail: event-medical@tkp.jp

発行部からのお知らせ

広報局 局長 柴田 浩之

次年度より、県士会員の皆様により良い情報を提供させて頂くために、発行物を電子化させていただきます。

電子化への移行に伴い、次年度より、下記の内容に変更させていただきます。

発行物・発行回数	次年度より
会報とやま（年3回発行） 年報（年1回発行）	送付しない
きときとPT（2～3年に1回発行）	

今後、県士会員の皆様には、「県士会ホームページ」にて、発行物を閲覧していただきますよう、よろしくお願い致します。

また、「きときとPT」をより有効に活用していくため、理学療法週間事業や高校生の施設見学の際に、県民の皆様にご直接お渡しする対応とさせていただきます。

なお、発行物の更新時期につきましては、すぐメールにて会員にお知らせ致します。

ご理解のほど、よろしくお願い致します。

令和元年度 富山県理学療法士会賛助会員名簿

学校法人	青池学園 富山リハビリテーション医療福祉大学校			
	〒930-0083 富山市総曲輪4-4-5	TEL 076-491-1177	FAX 076-491-1178	
株式会社	ウィル			
	〒939-0311 射水市黒河3075	TEL 0766-56-7099	FAX 0766-56-3395	
株式会社	富山県義肢製作所			
	〒930-0042 富山市泉町1-2-16	TEL 076-425-4279	FAX 076-425-4587	
金城大学	医療健康学部 理学療法学科			
	〒924-8511 石川県白山市笠間町1200	TEL 076-276-4400(代)	FAX 076-275-4316	
富山医療福祉専門学校				
	〒936-0023 滑川市柳原149-9	TEL 076-476-0001	FAX 076-476-0002	

(五十音順)

編 集 後 記

＊今年の冬は雪が少なかったですね。これだけ少ないとさみしい気もしました。
「会報とやま」が次年度から電子化推進のため富山県士会ホームページでの閲覧
となりますが、これからも情報を発信していきます。
ホームページを開いて読んでいただきたいと思います。

(広報局 局長 柴田 浩之)

令和2年4月から、会報誌が電子化へ移行するに伴い情報発信の方法が変わりま
す。

改革に伴う戸惑いと不安はありますが、時には決断し実行することが必要です。
是非、県士会ホームページを閲覧してください。

(広報局 担当理事 水上 正樹)

近年まれにみる暖冬の影響もあり、桜の開花が例年より早まるそうです。気持ち
を新たに新年度を迎えたいですが、なかなか先の見通しが立たず、少し不安を感じ
ています。

次年度も引き続き部長を務めさせていただきますので、よろしくお願ひします。

(広報局 発行部 部長 浦上 孝徳)

2020.3.25

一般社団法人 富山県理学療法士会

☎936-0023 富山県滑川市柳原149-9

富山医療福祉専門学校
理学療法学科内

TEL: 076-476-1716

FAX: 076-411-6321

発行人: 酒井 吉仁

編集: 浦上 孝徳

印刷: 志貴野 苑

士会URL: <http://toyamapt.umin.ne.jp/>

事務局アドレス: toyamapt-office@umin.ac.jp

